

平成 22 年 11 月 10 日
地域移行促進部会 資料

わたしの健康ノートの試行について

1 試行までの経緯

これまで関係支援機関から「(ていねいに)診察してくれる医療機関を知りたい」「待合時間や待合室で待てない」「健康状態を伝えられない」などの受診時の課題が挙げられ、医療機関側の障害に対する理解が得にくく、診療の際にトラブルになり、当事者や家族が受診に消極的になるような実態も見られた。

このため、21 年度の地域移行促進部会の中で、知的障害、精神障害のワーキングチームに分かれて、地域での治療を継続する上での課題や解決策について意見交換を行った。その結果、自己の健康情報や医師からの指示をうまく把握するためのツールの必要性や、継続服薬のための工夫が必要であるとされた。

22 年度はこの経緯から、当事者も交えたプロジェクトチームによるノート作成に取り組み、モデルケースとして使用していただき、使用後の評価によって、ノートの必要性や効果を判断することとした。

2 作成の目的

受診に際し、自己情報を的確に伝える補助ツールとする。

服薬継続など地域生活上の問題点を改善していくために当事者、家族、支援者が有効に利用できるものとする。(支援過程での利用方法も含め)

作成の過程において、当事者の視点を重視し、地域での健康管理に役立つ情報を盛り込む。

3 配布先

知的障害 15 部(すぎのき、知障 GH、作業所、相談支援事業所等利用者)

精神障害 15 部(オブリ、保健センター、精神 GH、作業所、訪問看護等利用者)

4 試行スケジュール

- ・ 8 月～対象ごとに配布
- ・ 12 月末まで使用していただく
- ・ 1 月に聞き取り or アンケート調査
- ・ 2 月にチームで評価し、部会に報告